
2012年3月期第2四半期決算説明会資料

～計数の概要について～

2011年11月29日

稲畑産業株式会社

取締役執行役員

横田 健一

東日本大震災の影響により厳しい経営環境を見込んでいたものの、
想定より早期に回復

売上高: 2,320億円 対前年同期比 +0.2%

営業利益: 36億円 対前年同期比 Δ 21.3%

減価償却費等の販売管理費増加

経常利益: 41億円 対前年同期比 Δ 14.3%

営業利益が減少するも、持分法投資損益は改善の方向へ

当期純利益: 26億円 対前年同期比 Δ 31.7%

前期は関係会社売却益 31億円を計上、

今期は特別損益の影響は縮小

2012年3月期 第2四半期 連結決算総括

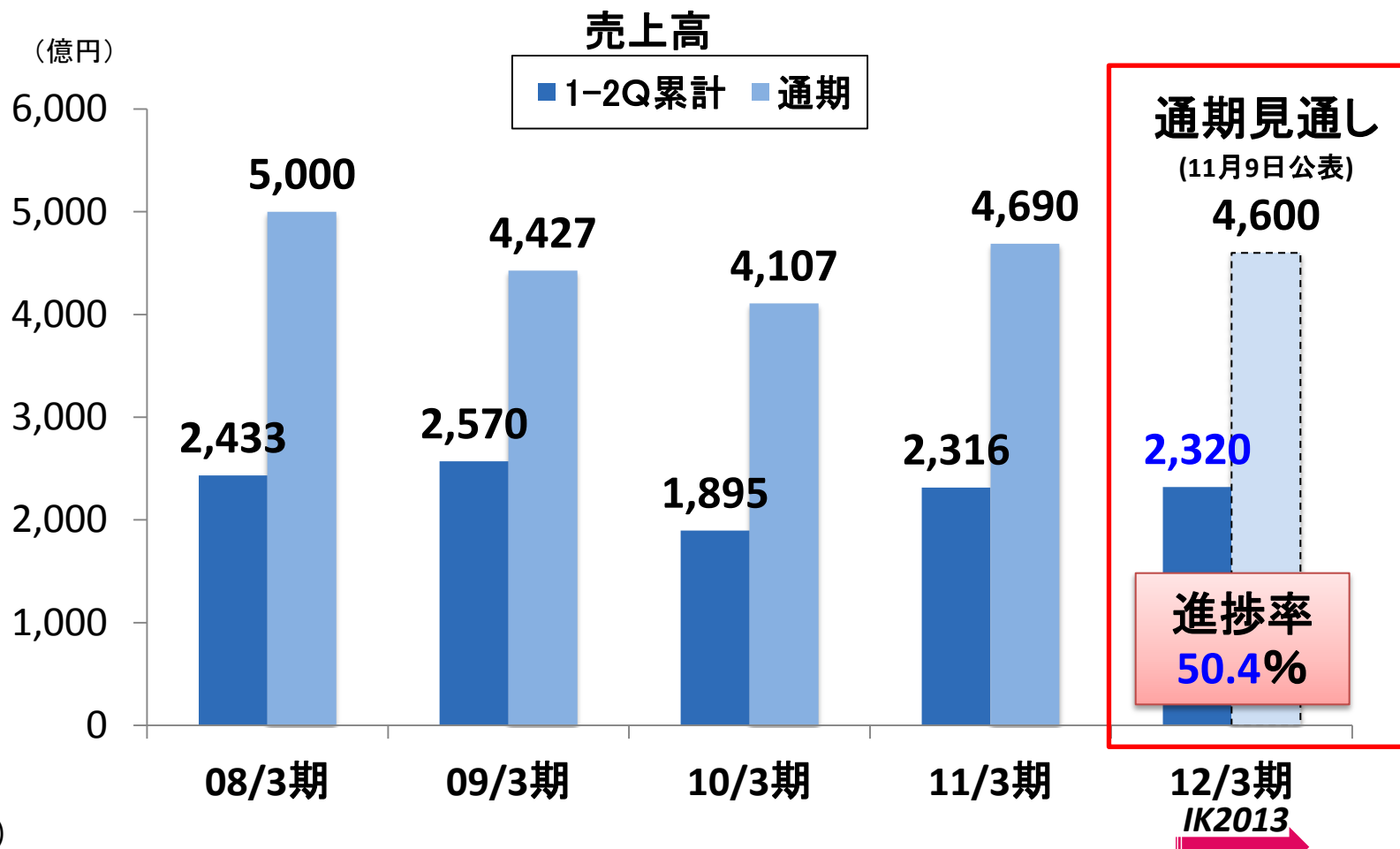


(億円)

	10/9期	11/9期	対前年同期比増減	
			金額	%
売上高	2,316	2,320	+3	+0.2%
営業利益	46	36	△ 9	△21.3%
経常利益	48	41	△ 6	△14.3%
当期純利益	39	26	△ 12	△31.7%
為替レート USD/円	88.48	80.73	△7.75	

期初 通期見通し (A)	11月9日 公表 通期見通し (B)	対期初公表 見通し増減 (B-A)
4,900	4,600	△300
80	72	△8
80	80	—
48	50	+2
81.49	76.82	△4.67

売上高の推移

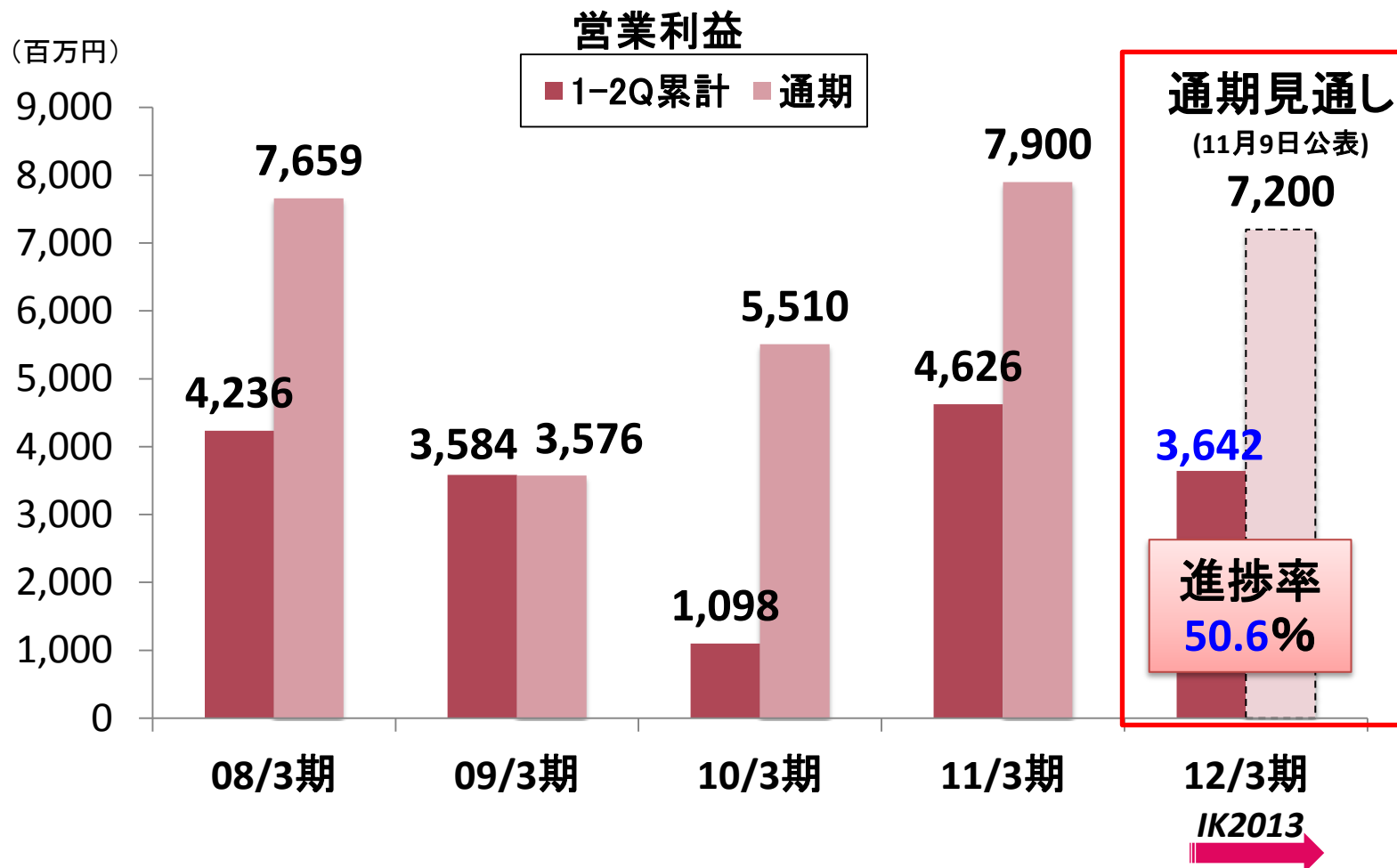


(参考)

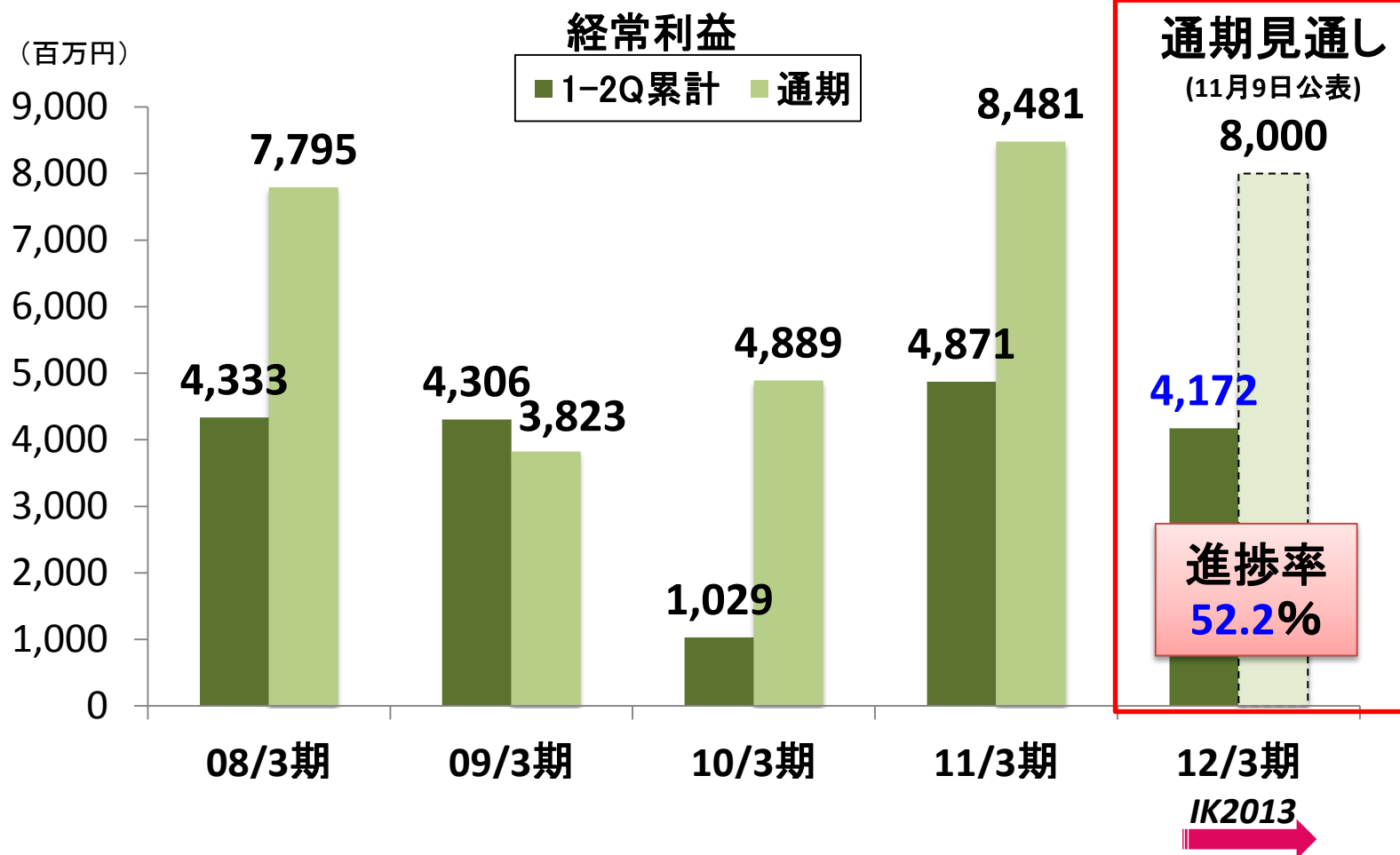
		08/3月期	09/3月期	10/3月期	11/3月期	12/3月期
為替レート USD/円	1-2Q累計	123.26	106.42	96.01	88.48	80.73
	通期	114.15	91.03	92.10	81.49	(注) 76.82

(注)現時点での想定

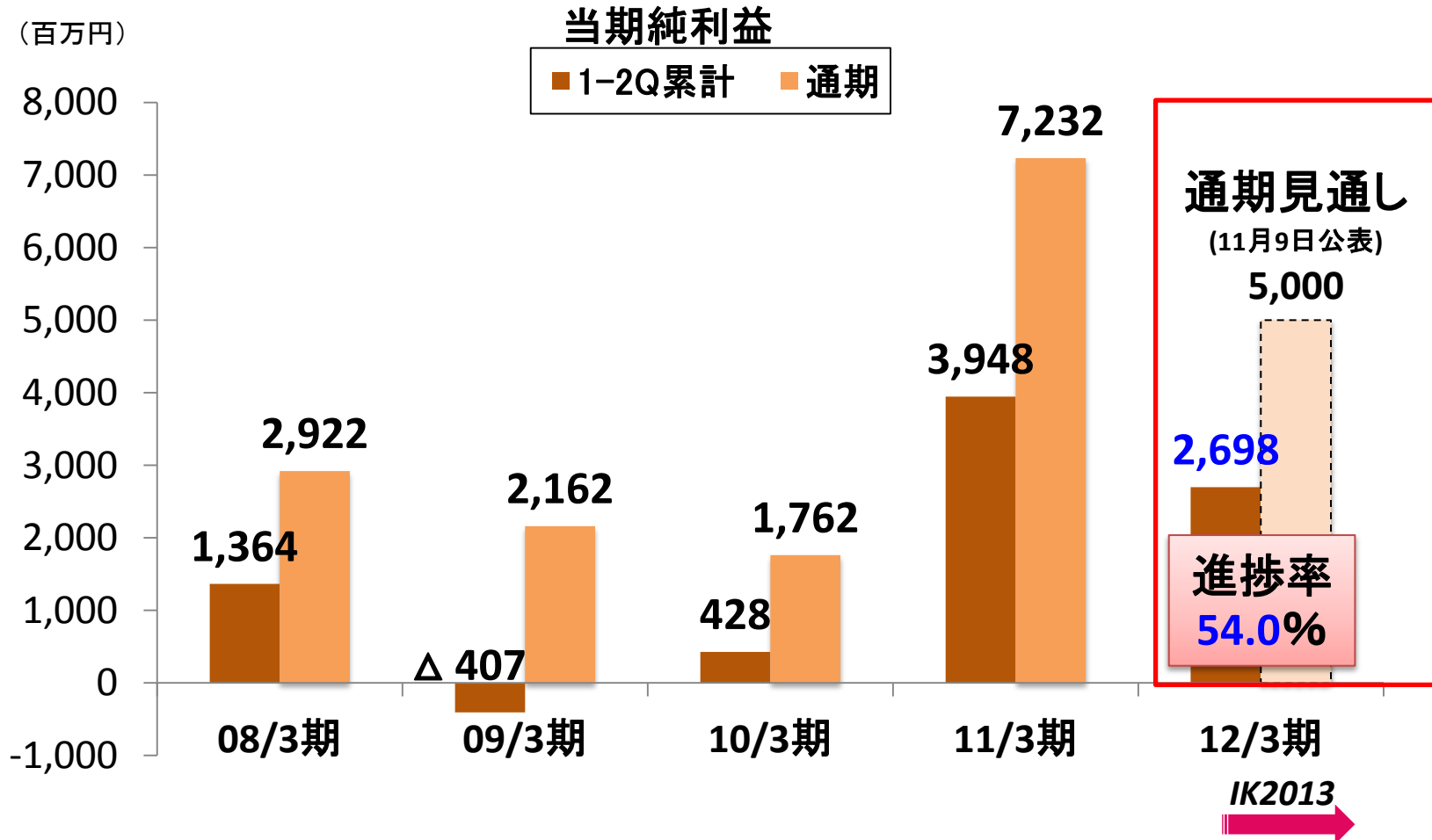
□ 営業利益の推移



□ 経常利益の推移

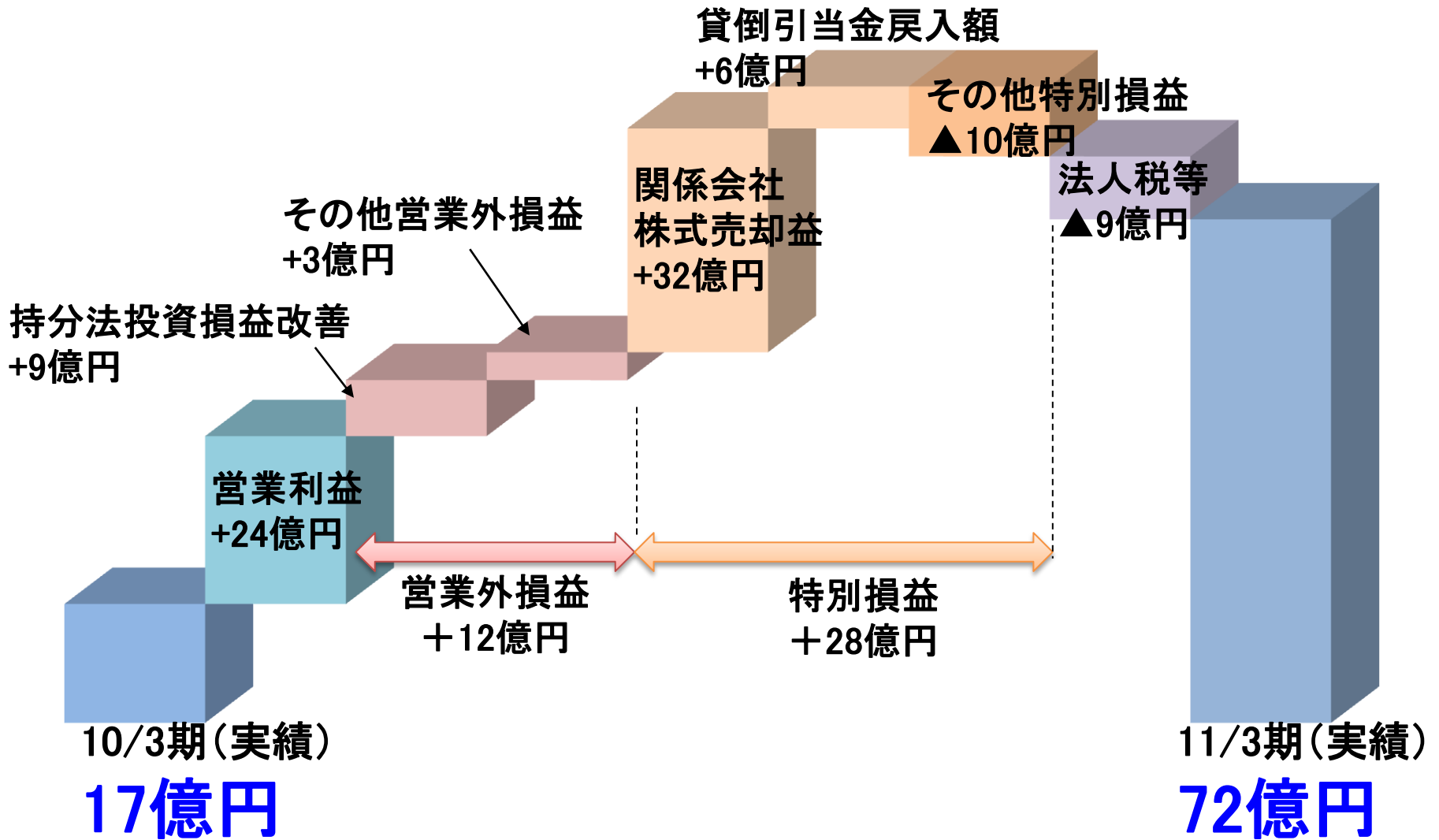


□ 当期純利益の推移



(注) 11/3期はアイケイファーマシー株式売却益31億円を含む

(参考) 11/3期当期純利益の分析



(注) 11/3期はアイケイファーマシー株式売却益31億円を含む

□ B/Sサマリー

- ・手許流動性の圧縮により現金及び預金の減少
- ・運転資金増加により短期借入金が増加
- ・自己資本比率が30.4%と11/3末比 +0.5ポイント上昇

(億円)

(資産)				(負債/純資産)			
	11/3末	11/9末	増減		11/3末	11/9末	増減
現金及び預金	165	96	△69	支払手形及び買掛金	860	812	△48
受取手形及び売掛金	1,260	1,291	+30	短期借入金	453	523	+70
棚卸資産	295	335	+39	その他流動負債	98	79	△18
その他流動資産	56	69	+13	長期借入金	151	138	△13
有形固定資産	99	97	△1	その他固定負債	98	102	+4
無形固定資産	65	61	△4	株主資本	633	648	+14
投資有価証券	385	386	+0	その他の包括利益累計額	79	78	△1
その他固定資産	54	52	△2	その他純資産	7	6	△0
資産合計	2,382	2,390	+7	負債純資産合計	2,382	2,390	+7
流動比率	125.9%	126.6%		自己資本比率	29.9%	30.4%	

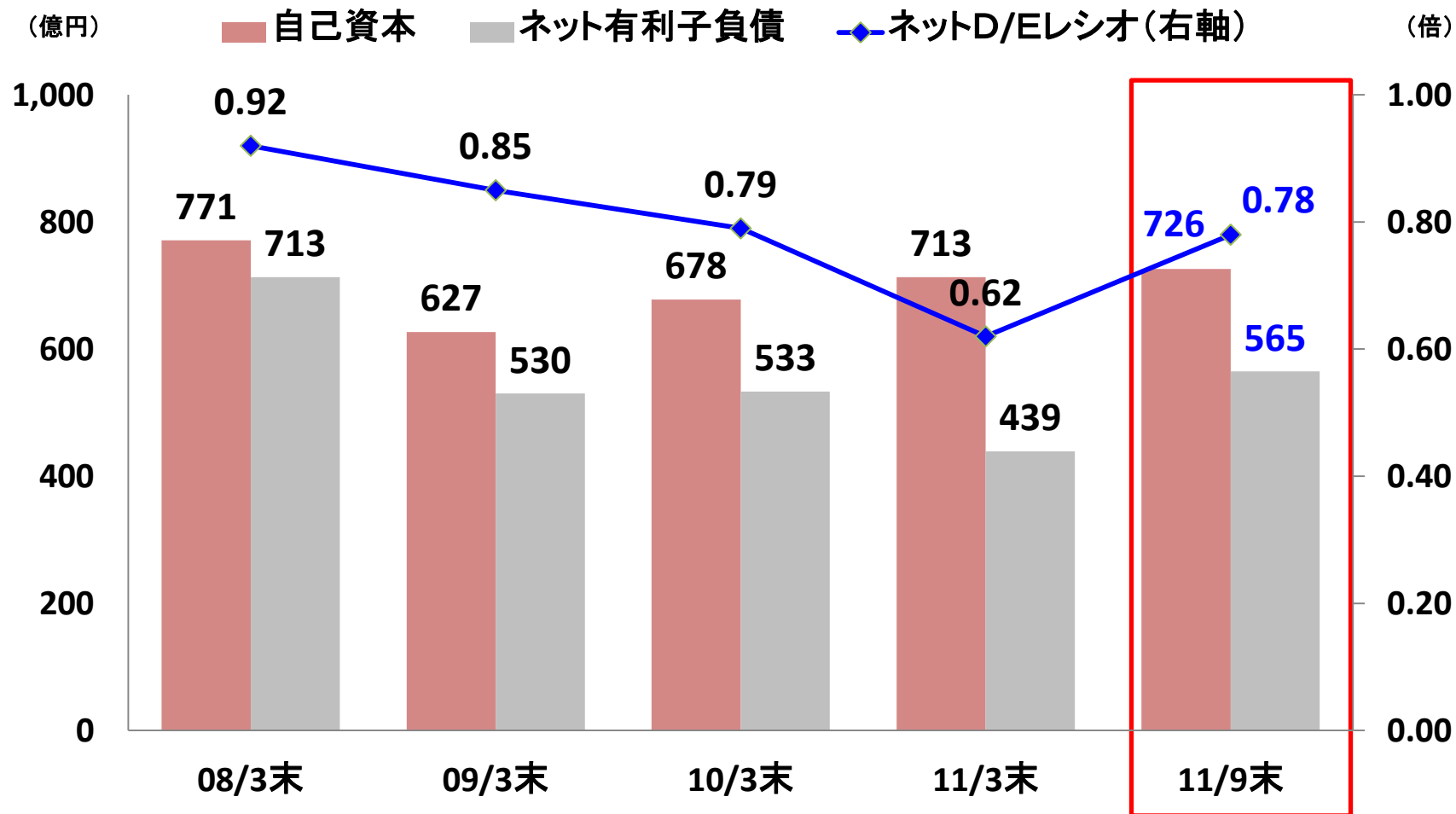
IK2013



IK2013



□ 自己資本・ネット有利子負債・ネットDER推移



(注) 自己資本 = 純資産 - 新株予約権 - 少数株主持分

IK2013

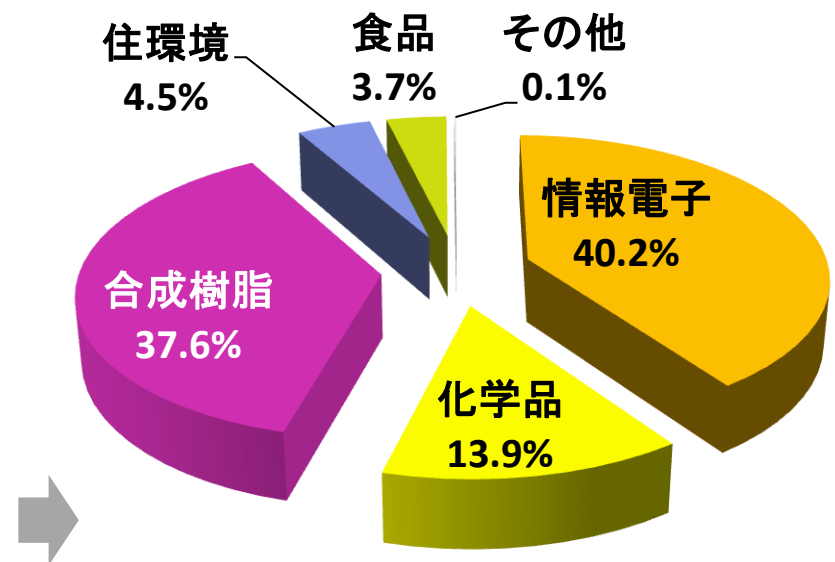
□ 事業セグメント別売上高

- ✓ 情報電子事業は、液晶関連について偏光板・拡散板などの関連部材及び偏光板原料が減少
- ✓ 合成樹脂事業は、アジア地域を中心に売上伸長

売上高

(億円)

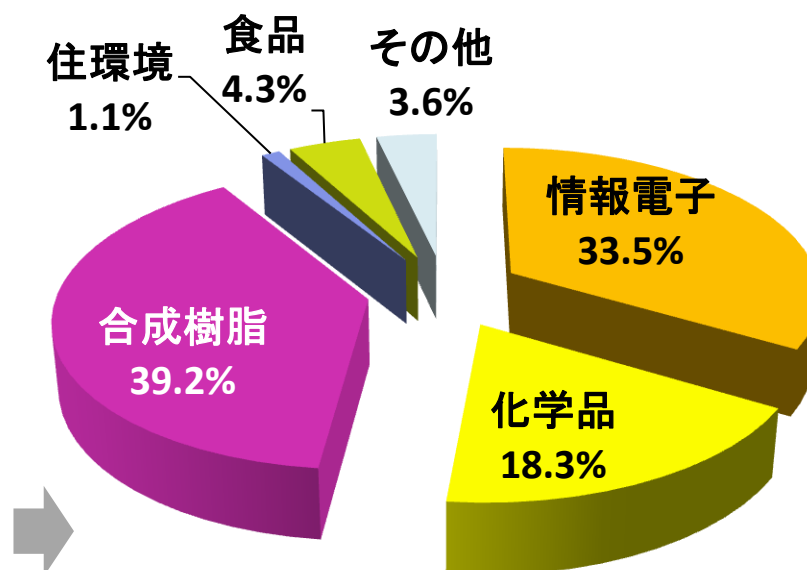
	11/3期 1-2Q累計	12/3期 1-2Q累計	前年同期比 増減率
情報電子	978	933	△4.6%
化学品	325	321	△1.4%
合成樹脂	835	872	+4.4%
住環境	97	105	+7.4%
食品	74	85	+14.4%
その他	4	2	△32.3%
合計	2,316	2,320	+0.2%



営業利益

(百万円)

	11/3期 1-2Q累計	12/3期 1-2Q累計	前年同期比 増減率
情報電子	1,811	1,219	△32.7%
化学品	858	665	△22.4%
合成樹脂	1,812	1,425	△21.3%
住環境	△ 6	41	—
食品	24	158	+535.5%
その他	125	132	+5.4%
合計	4,626	3,642	△21.3%



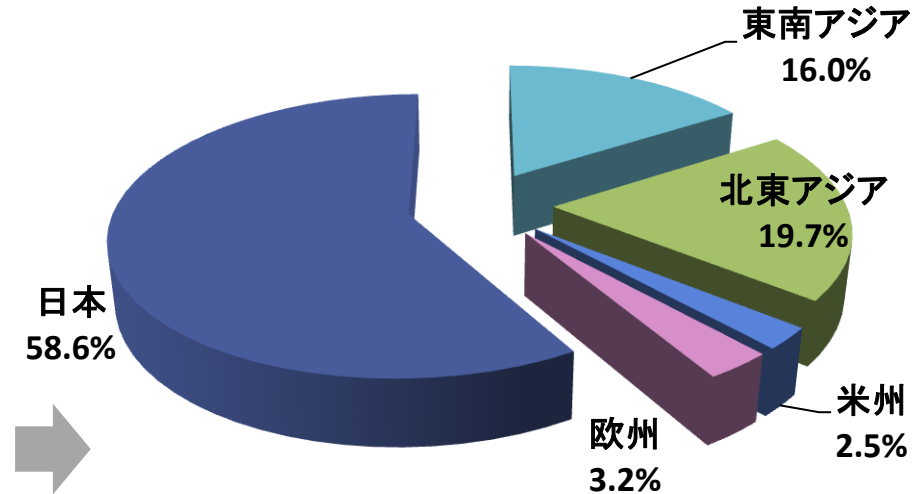
□ 地域別売上高

- ✓東南アジア → シンガポールではベトナム、インドなど新興国向けの輸出が好調
- ✓北東アジア → 華東では、欧米系・ローカル系の自動車メーカーの増産及びOA業界・内需関連で好調
台湾では、液晶関連業界の中国向けパネル輸出が好調
- ✓欧州 → ファインケミカル事業の好調、太陽電池関連の進捗により利益増

売上高

(億円)

	11/3期 1-2Q累計	12/3期 1-2Q累計	前年同期比 増減率
東南アジア	353	370	+4.9%
北東アジア	432	457	+5.9%
米州	71	57	△19.4%
欧州	78	73	△5.7%
日本	1,381	1,360	△1.5%
合計	2,316	2,320	+0.2%
(海外比率)	(40.4%)	(41.4%)	(+1.0%)



(注)「日本」区分には日本から海外への輸出を含む(12/3期 1-2Q累計は255億円)

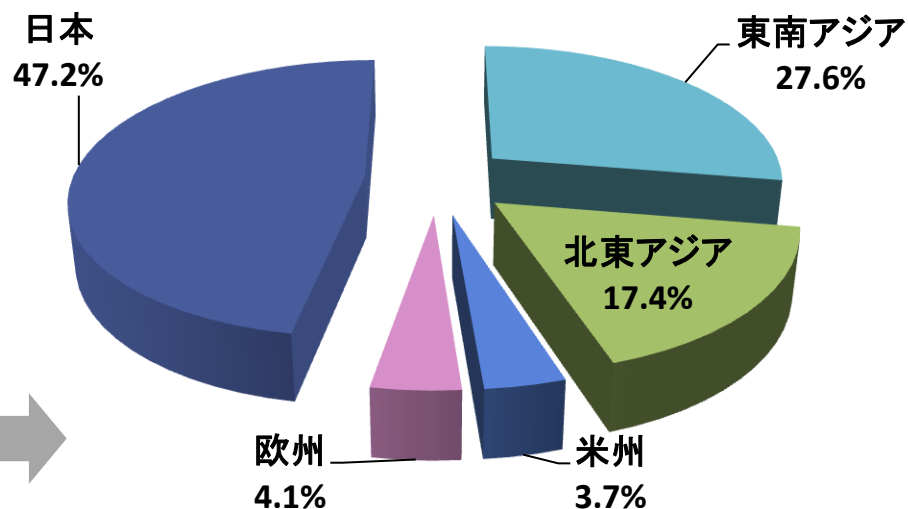
これらを含む海外向け売上比率は (11/3期 1-2Q) 51.2% → (12/3期 1-2Q) 52.1%

□ 地域別営業利益

営業利益

(百万円)

	11/3期 1-2Q累計	12/3期 1-2Q累計	前年同期比 増減率
東南アジア	1,396	1,006	△28.0%
北東アジア	632	634	+0.3%
米州	223	135	△39.1%
欧州	40	149	+266.0%
日本	2,388	1,725	△27.8%
消去又は全社	△55	△8	
合計	4,626	3,642	△21.3%
(海外比率)	(49.0%)	(52.8%)	(+3.8%)



□ 主な連結子会社の状況

	連結子会社数(社)		
	国内	海外	合計
連結子会社	12	39	51
持分法適用非連結子会社 及び持分法適用関連会社	6	6	12
合計	18	45	63

□ 主な連結子会社の状況

(百万円)

会社名	所在地	11/3期 1-2Q累計			12/3期 1-2Q累計			前年同期比増減率		
		売上	営業利益	当期利益	売上	営業利益	当期利益	売上	営業利益	当期利益
Taiwan Inabata Sangyo Co.,Ltd.	台湾	20,304	338	236	23,589	397	307	+16.2%	+17.5%	+30.1%
Inabata Sangyo (H.K.) Ltd.	香港	14,422	134	128	14,009	109	144	△2.9%	△18.7%	+12.5%
Inabata Singapore (Pte.) Ltd.	シンガポール	13,531	317	285	16,340	276	275	+20.8%	△12.9%	△3.5%
Inabata Thai Co.,Ltd.	タイ	12,048	352	331	12,015	216	256	△0.3%	△38.6%	△22.7%
Shanghai Inabata Trading Co.,Ltd.	上海	7,261	144	127	8,838	154	138	+21.7%	+6.9%	+8.7%
PT.Inabata Indonesia	インドネシア	4,093	207	145	5,654	182	140	+38.1%	△12.1%	△3.4%
稲畑ファインテック	日本	5,938	109	67	6,201	166	102	+4.4%	+52.3%	+52.2%

(注) 11/3期 1-2Q累計の実績値は、12/3期 1-2Q累計決算レート(1USD=80.73円)に置換えしてあります。

□ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 経営企画室 広報部

TEL 03-3639-6546 FAX 03-3639-6793

E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。従いましてこれらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではないことをご理解下さい。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。